



所信表明

9月13日開催の平成28年第3回富士見市議会定例会で、星野光弘市長が市政運営について所信表明を行いました(原文をそのまま掲載しています)。

私 は、これまで市議会議員初当選の時から「夢をかたちに！今ここから、私たちの手で」をスロ―ガンに掲げ、関係する方々と共に考え、これを条例、政策や事業へと、夢をかたちにする努力を重ねてまいりました。また、今日まで多くの市民の皆様から頂いた期待は、私の政治活動の

大きなエネルギーであります。私は、市政運営は初めてでございますが、市議会議員、埼玉県議会議員として培ってきた経験と多くの方との出会いを活かし、これからの4年間、11万市民の皆様への期待に応え、市民生活の向上に全力を尽くしてまいります。

さて、人口減少社会の到来と高齢社会の本格化は、全国的な課題であります。埼玉県の平成27年国勢調査抽出速報集計結果によりますと、富士見市、川口市などの県南西部地域や県南部地域は人口が増加しております。しかしながら、本市が昨年度策定した「富士見市キラリと輝く創生総合戦略」の人口ビジョンの中では、中長期的には人口減少を想定しており、まちの活気、

さらに、市内の横断的取組を強化し、関係機関等と連携しながら、子どもたちを貧困、虐待、犯罪からしっかりと守ってまいります。また、大切な子どもたちを事件や犯罪から守るため、市民、地域の協力をいただきながら、通学路の点検・改修、地域に防犯カメラを設置するなど安心安全な環境の整備に努めてまいります。小・中9年間の学びと連続性を重視した教育を展開するため、小・中連携、一貫教育の導入を図ります。

また、子どもたちを取り巻く環境の変化などにより、教員だけでは対応が難しい問題も多く顕在化しており、そうした子どもたちの心に寄り添いながら、教育相談等での支援を充実させてまいります。また、現在の社会経済状況の中で、若い人たちが希望をもち、夢をかたちにできるキャリア教育を推進してまいります。

さらに、子どもから高齢者まで多くの皆様がスポーツに親しみ、「富士見市スポーツ振興健康増進都市」に相応しい環境を整備してまいります。

政策方針③
共に支え合い、元気でイキイキ。
ズ〜っと富士見市で

誰 もが、住み慣れた地域で、健康で安心して生活を送りたいと願うものです。そこで、地域や関係機関と連携しながら「健康長寿のまち

一緒につくります

一緒につくります

経済活動、財政基盤など多方面にわたる影響が懸念されております。本市の水と緑に恵まれた自然や、歴史、文化、地理的条件に恵まれた特性や資源を活かし、さらに磨きをかけるが、より夢と希望のあるまちにしていくことが、私の目指す富士見市の姿であります。そこで私は、「誰もが住みたい、住み続けたい、選ばれるまち富士見市」をつくるために、3つの政策方針と市役所元氣宣言からなる「ふじみ☆ビジョン21+」を市民の皆様にお示ししてまいりました。そこで、これからの市政運営にあたりまして、ビジョンに基づき施策の方向性を申し上げます。

政策方針①
活気と賑わいでつくる富士見市

昨 年、市役所前に大型商業施設が開業し、これまでの市外に「出掛けるまち」から、「訪れるまち」に変わってきています。また、これに関連し、財源確保、地元農作物の販路拡大や、子育て環境の充実など、大型商業施設は、本市のまちづくり発展のエンジンとなっております。今後、増加している交流人口をまちづくりに活かすとともに、富士見市のPRの強化に努めてまいります。同時に、私自身が先頭に立ち、富士見市のPRの強化に努めてまいります。同時に、私自身が先頭に立ち、富士見市のPRの強化に努めてまいります。同時に、私自身が先頭に立ち、富士見市のPRの強化に努めてまいります。

政策方針②
スクスク子育てと確かな教育は富士見市で

先 ほど申し上げましたように、本市も中長期的に見ると、少子高齢化が進み、人口減少社会を迎えます。そこで、赤ちゃんを産み育てる、お父さん、お母さんのために妊娠、出産から子育てまで、切れ目なくサポートを提供する総合的なサービスを提供させ、子育て世代の方々が安心して産み育てられることができ、夫婦が共働きで子育てができる環境づくりに取り組んでまいります。

前市長が取り組んできた子育て支援策をはじめとする様々な施策では、大きな成果を上げてこられました。私は、本市発展のため築かれた礎をしっかり継承し、更に進化させてまいります。学校教育においては、埼玉県教育委員会の協力を得て、児童生徒一人ひとりの学力を確実に伸ばす教育の推進と、学校環境の改善に取り組んでまいります。

つくろうではありませんか。

市民の皆様が「富士見市に住んでよかった」と心から感じていただけるよう、皆様の声に十分耳を傾け、その想いをしっかりと胸に刻みながら、市民の皆様との暮らしに寄り添った市政運営を行ってまいります。本市の発展が、埼玉県の成長にもつながっていくと確信し、市長として全力で取り組んでまいります。

戦略的に取り組む必要があります。そこで、財源の創出、新たな価値を生み出すために自由な発想で議論できる場づくりなど職員と一体となって創意工夫を凝らします。また、多様なまちづくり課題に対応するため、部局の縦割り組織にしっかりと横串を入れる仕組みを創造します。

行財政改革は不断の努力で真摯に改革改善に努めてまいります。また、感性を磨き時代の潮流を見極め、人の思いや考えを掴む力を身につけること、常に感謝の心を忘れず、市民の喜びを職員の喜びとする、温かく元氣な市役所にしてまいります。

以 上、私の「ふじみ☆ビジョン21+」に基づく施策の方向性を申し述べさせていただきました。

人口の急増とともに大きく変貌を遂げてきた本市は、来年、市制施行45周年を迎えます。そこには、今日の安心安全な市民生活への道筋をつけていただいた先人の英知、労苦、たゆまぬ努力がございました。

そして今、富士見市は新しい時代に向かうスタートラインに立っています。この所信表明をお聞きの市民の皆様にも、再度訴えます。市民力、地域力そして富士見市の潜在能力を引き出し、磨きをかけ、住みやすいまち富士見市をつくるのは、私たち自身です。これからの富士見市の未来を、一緒に

富士見市の未来を

市役所元氣宣言
「創・改・感」創意工夫、改革改善、感性・感謝で元氣な市役所

社会経済状況の変化や災害の脅威などにより、新たな行政課題の発生や住民ニーズの高まりなど、まちづくりの課題も変化し、より多角的な視点からの対応が必要になってまいります。

また、まちのあり方が変わろうとしている中では、本市の魅力や優位性を広くPRし、シティブロモーションを



鶴瀬駅東側のまちなみ